

大阪大学・アトムメディカル・ドゥウェル

「入院中の赤ちゃんに、わが子に会いたい」実現プロジェクト

## NICU オンライン面会システム “OSAKA-N システム”

### 利用希望施設 第 1 回公募要領

NICU に入院した赤ちゃん和家人の愛着形成は重要な問題であり、親子面会はその基本となります。しかし 2019 年から急激に広がった新型コロナウイルス感染症の流行により、全国の病院で厳しい面会制限が余儀なくされ、生まれてきたわが子に会うことができないというご家族が続出しました。

このような状況下、大阪大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センターでは「入院中の赤ちゃんに、わが子に会いたい」実現プロジェクトを立ち上げました。個人情報大切に守りながら、いつでも、どこからでも、わが子に会っていただくことのできる“ウィズコロナ時代のオンライン面会システム”の構築を目指すものです。そして 2021 年 9 月よりクラウドファンディング「新型コロナ：入院中の赤ちゃん 24 時間会えるシステム構築を！」(<https://readyfor.jp/projects/handai-kodomo>) に取り組み、1100 人を越える方々からご支援をいただきました。この資金を元に、

① 個人情報に関する安全性の担保

② 医療スタッフの最小限の手間と労力による運用、持続的な活用

を可能とするシステムの開発を目指しました。そして 2021 年 5 月末に“OSAKA-N システム”が完成したのです。テスト稼働と様々なシステム修正などを経て、7 月より本格稼働を行っています。現在、当院 NICU・GCU に入院中のすべての患者さんご家族が、ほぼ毎日オンライン面会を行うことができ、ご家族・医療スタッフから高い評価を得ています。

※ 実際の運用の様子については以下の URL からご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=cBfNCIEC0Ko> (阪大病院 NEWS)

<https://www.youtube.com/watch?v=yZIPfiolkIA> (読売テレビ「ten.」)

しかしながら、まだ全国には生まれてきた赤ちゃんに会えないご家族がたくさんいらっしゃいます。多くの方々からご支援いただいて完成したこのシステムを、ひとりでも多く利用していただくことはできないものかと考えました。

今回、アトムメディカル株式会社、ならびにドゥウェル株式会社の多大なご厚意とご支援により、この OSAKA-N システムをセントラル端末 1 台・ベッドサイド端末 4 台とともに、条件を満たす 2 つの施設に半年間、無償で貸与したいと思います。

尚、今回の目的は OSAKA-N システムの臨床現場における有効性を確認することも大切な目的の 1 つです。使い勝手や機能等についてのフィードバックをお願い申し上げます。

## 記

### ◆募集期間と応募方法：

応募書類に必要事項を入力したのちに、メール添付にて事務局までご送付ください。

2021年10月25日（月）～11月12日（金）17時 事務局必着 締切厳守

### ◆募集対象：

国内の NICU・GCU 施設

### ◆応募条件：

以下の条件をすべて満たす必要があります。

1. 【システム運用】 NICU 責任者および看護師長の賛同が得られ、医師 1 人・看護師 2 人以上によるオンライン面会に関する専門ワーキンググループをつくること
2. 【ネットワーク環境】 NICU・GCU 内にインターネット環境が整備されていること
3. 【システムの設置と維持】 病院内のインターネット管理を行う部署（医療情報管理室など）の賛同と協力が得られること（専門の部署がない場合は、対応する事務担当の同意でけっこうです）。
4. 【フィードバック】 面会システムの使い勝手や機能についてフィードバックをいただくこと

### ◆貸与システムと機器、件数、および期間：

以下のシステム・機器を、2つの施設に貸与します。

1 施設当たり

- ・ ベッドサイド端末 4 台
- ・ タブレット端末 1 台
- ・ セントラル端末 1 台
- ・ プリンタ 1 台

※ 病棟内のインターネット環境の整備については、各施設にてお願いします

貸与期間： オンライン面会の運用開始から 6 ヶ月間

※ 少しでも多くの施設にご利用いただくため、6ヶ月後に第2回公募を行う予定です。

#### ◆このシステムの詳細ならびに期待されること

この OSAKA-N システムは、クラウドファンディング「新型コロナ：入院中の赤ちゃん 24 時間会えるシステム構築を！」により集まった資金をもとに、独自開発されました。既存の web ミーティングシステムとは異なり、個人情報に関する安全性を担保し、かつ医療スタッフに URL 発行と通知といった労力をかけることなく、毎日のオンライン面会が可能となります。

具体的には、以下のように利用します（赤字がスタッフ、青字が患者家族）。

1. 新患者の NICU 入室時に、看護師がバーコードリーダーをもちいて患者登録
2. 患者ごとに自動で割り振られた認証コードが記載された説明文書を印刷し、ご家族に手渡す
3. ご家族が自宅の PC・タブレット・スマートフォンから、ネットブラウザをもちいてご家族情報（メールアドレスとパスワード）を登録  
（サーバーから登録完了メールが自動送付される）
4. ご家族が希望の面会日程・時刻を入力  
（サーバーから予約の仮登録完了メールが自動送付される）
5. 毎日夕方に、翌日の面会予約を確認し承認  
（サーバーから予約確定メールが自動送付される）
6. 面会時間の 5 分前にベッドサイド端末を準備  
（システム起動→バーコードリーダーによる端末と患者のひも付け）
7. 面会時間にご家族が二段階認証のうえ面会システムに入室
8. 面会開始
9. 予定時間が終われば自動で面会終了

これにより、以下のような状態でのオンライン面会や病状説明が期待されます。

- ・ COVID-19 による面会制限下
- ・ 体調不良により NICU 内へ入室できない母親
- ・ 国内の遠隔地や海外に在住する父親
- ・ 遠隔地にいる、あるいは体調不良で会いに来られない祖父母
- ・ NICU 内で静かにしていただけないごきょうだい
- ・ 自宅と NICU が遠距離にあるため頻回の面会が困難なご家族
- ・ 急な病態変化により、ご家族の来院が待てない場合のご家族への説明

◆採否決定の時期：

2021年11月下旬までに決定し、採択施設優先で、ご応募いただいたみなさまへご連絡します。

◆オンライン面会システム利用開始の時期と期間：

2022年1月中旬（開始予定）から6ヶ月間

◆重要事項：

- (1) 選考は申請書をもとに行いますが、以下のような点にとくに注目します。
  - (ア) オンライン面会が実際の活用に至る実現性
  - (イ) 入院児の家族のご自宅がNICUから遠距離にある、あるいはご両親の1人が海外に居住しているようなケースが多いなど、COVID-19による面会制限の有無にかかわらず、このシステムが有効と期待されるような特色があること
  - (ウ) 都心部と地域性のバランス
- (2) このプロジェクトは、オンライン面会が実際に運用されることを最大の目標とします。したがって運用に支障が出ると判断される場合は、採択後であっても採択を取り消す場合がありますのでご注意ください。

ご質問などは、下記の事務局までお問い合わせください。

**「入院中の赤ちゃんに、わが子に会いたい」実現プロジェクト 事務局**

**大阪大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター・小児科 北畠 康司**

**E-mail : [ykitaba@ped.med.osaka-u.ac.jp](mailto:ykitaba@ped.med.osaka-u.ac.jp)**



成人向け  
Osaka-Aシステム

NICU向け  
Osaka-Nシステム

### オンライン面会システム

(右側) NICU向け Osaka-Nシステム  
タブレット、カメラ、バーコードリーダーから成ります